



すくすく249

第4号

編集・発行

札幌市立はまなす幼稚園

平成31年(2019年)3月8日

はまなす幼稚園 2年間の研究の足跡

～子どもたちから学んだこと～

はまなす幼稚園では、昨年度から「言葉による伝え合い」をテーマにして研究を進めています。今年度はその中でも園児の実態を踏まえ、「友達の思いや言葉を聞く」「友達と心を通わせる」心地よさを感じることができるよう教師の援助（環境の構成）の在り方に焦点を当てて研究を深めてきました。

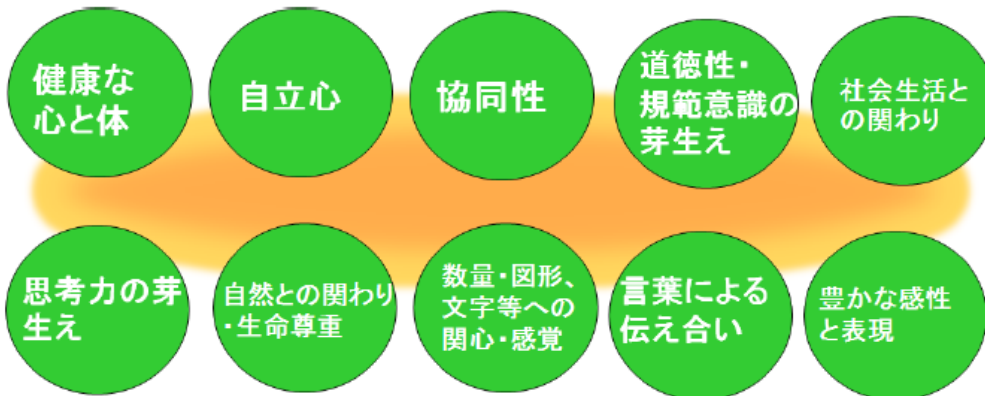
【目指す幼児の姿】「聞く」「伝え合う」ことを楽しめる幼児



遊びがもっと楽しくなった!

研究を進める中で、幼稚園教育要領に示されている「幼児期の終わりまでに育ててほしい姿」(下図参照)は、相互に影響し合いながら、遊びの中に現れてくることを改めて確認しました。

本園の課題である「言葉による伝え合い」に視点をあてて研究を進めることで、幼児は伝え合うことの心地よさを感じることができるようになってきました。



懇談、アンケート等で、家庭で「言葉による伝え合い」について工夫していることについても伺いました。一部ですが、各学年における家庭での取り組みについても紹介します。

年少 3歳児 6月 「指絵の具遊び」



気持ちを解放して、絵の具遊び。
壁に付けた絵の具を洗車ブラシでこすりました。

幼児期の終わりまでに育ってほしい姿



健康な心と体

豊かな感性と表現



豊かな感性と表現

友達と一緒に表現する楽しさ

みんなでゴシゴシ!

言葉による伝え合い

絵の具に十分触れて解放感を味わう。

反応してくれる友達を身近に感じる環境

9月 「ドングリムシを発見！」

散歩で拾ってきたドングリからドングリムシが出てきた!



ここに集めよう!

こっちにもいる!

ドングリムシに触れ、愛着をもつ。

言葉による伝え合い

よく見て様子に気付く。

思考力の芽生え

自然との関わり・生命の尊重

伝えたい題材（ドングリムシ）がある。共通の興味があることで表現しやすい。

12月 「よーい〇〇！」

8月頃から繰り返し楽しんでいる遊び。教師が「よーいどん。」だけではなく「よーいうどん!」「よーいぶどう!」と違う言葉を使って言葉遊びをして楽しむことを繰り返していると、子どもたちもいろいろな掛け声で楽しむようになりました。

よーいどんぐり!

よーいうどん!

言葉による伝え合い

道徳性・規範意識の芽生え

ルールを守って遊ぶ

言葉の掛け合いの楽しさ、友達の声の聞いたり、思いついた言葉を自分から声を出したりする楽しさを感じる。

<3歳児家庭での工夫は...>

- ・ その日の出来事などをゆっくり聞くようにしています。
- ・ 泣いたり怒ったりしている時は、「～してほしかった?」など気持ちを言葉で代弁するようにしています。
- ・ 言葉がなかなか出てこない時もなるべく口をはさまず、待つように心掛けています。

年中 4歳児 4月～7月「虫探し探検隊」

「虫発見！」の声を聞き、違う場にいた子どもたちが集まり、地面にいる虫に目を向けています。

虫探し
(自分のやりたいことに向かって)

健康な心と体

身近な環境に関わる。

自立心

自然との関わり・生命の尊重

道徳性・規範意識の芽生え



虫に触れ、命があることに気付く。

友達と一緒に虫や図鑑を見る。

図鑑の虫を見比べながら見つけた虫の名前を図鑑で調べようとするようになりました。虫の特徴や気付いたことを伝え合うようになりました。

数量・図形、文字等への関心・感覚

虫の足の数を数える。背中の模様(形)に気付く。

思考力の芽生え



虫の動きに気付き、発見を楽しむ。

子どもの気付きや発見を掲示する。虫探しをしている子どもだけではなく、掲示物に気付いた子も興味を示すようになりました。

掲示されている文字や写真を見る。

数量・図形、文字等への関心・感覚



学級皆の前で発表をする。喜んで伝えたり、それに対して答えたりする姿がありました。

豊かな感性と表現

伝える喜びを味わう。



言葉による伝え合い

- ・自分の思いや気付きを言葉で表現する。
- ・言葉を通して先生や友達と心を通わせる。
- ・必要に応じて文字を読んだり、書いたりする。
- ・掲示物で友達と話題を共有できる。
- ・学級皆の前で発表する。

<4歳児家庭での工夫は…>

- ・遊びや生活の中でどうしてそう思ったのか子どもの考えを聞くように意識して接するようになっています。
- ・質問された時に「Aちゃんはどう思う?」と聞くようになっています。(答えを言ってしまわないようにする。)
- ・「うるさい。」「嫌い。」「だめ。」「やだ。」と思いを表した時に、どうして「嫌い(だめ、やだ)なのか」を丁寧に聞いたり、相手の気持ちに触れられるように「こんなふうになってみたらどう?」と言葉を知らせたりしています!

年長 5歳児 11月「円山公園の劇を作ろう！」

- 健康な心と体
- 自立心
- 協同性
- 道徳性・規範意識の芽生え
- 社会生活との関わり
- 思考力の芽生え
- 自然との関わり・生命の尊重
- 数量・図形・文字等への関心・感覚
- 言葉による伝え合い
- 豊かな感性と表現

山登り
おじょうさんは88体

健康な心と体

自然との関わり・生命の尊重

数量・図形・文字等への関心・感覚

道徳性・規範意識の芽生え

バスと地下鉄に乗って

6月 円山登山
地下鉄とバスに乗って円山八十八ヶ所登山に出発！88を確認しながら山に登りました。

幼児期の終わりまでに育ってほしい姿


6月おじょうさん作り
後日、円山登山で見たおじょうさんを再現！共通の経験を生かすことでイメージを共有し伝え合いが促されました。



6月 円山劇遊び
共通の経験をもとに劇ごっこ。考えたことを伝え合い一つの劇にしました。

協同性

友達と経験を再現




6月 動物園遠足
ゾウがいないこと、ミャンマーから新しいゾウが来ることを知りました。発表会の劇に生かされました。

動物に触れる

社会生活との関わり

地域の動物園へ

自然との関わり・生命の尊重



友達と相談しながら折り合いをつけて

道徳性・規範意識の芽生え

思考力の芽生え

自立心

様々な素材を使って形を工夫した衣装作り

動物になりきって表現する

難しいと思ったことに挑戦

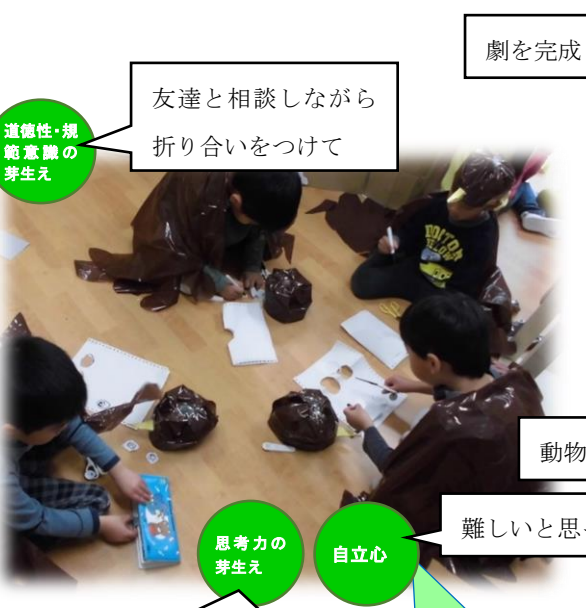
自立心

数量・図形・文字等への関心・感覚

豊かな感性と表現

協同性

友達と一緒にやり遂げる役割を分担して



劇を完成させる

自立心

数量・図形・文字等への関心・感覚

必要な看板や道具作り

豊かな感性と表現

協同性

友達と一緒にやり遂げる役割を分担して



11月 生活発表会では、それまでの遊びの経験を生かし、『円山物語』の劇を作りました。今までの経験をつなげ、自分たちの考えを表現できるようにしました。動物園の動物たちと名探偵が事件を解決していくオリジナルストーリーです。

- 共通の経験を生かすことで、話題を共有し、お互いの考えを言葉で伝える。
 - 友達の考えを聞き、受け止めたり、認めたりする。
 - 自分たちで考えたストーリーを相手に分かりやすい言葉で伝える。
 - 大きな声で発表する。
- 言葉による伝え合い

- <5歳児家庭での工夫は…>
- 嫌なことや失敗したときに「何が嫌だったか？」「どうすればよいか？」を一緒に考え、伝え合うようにしています！
 - 毎日幼稚園でのことを話し合うようにし、気持ちを子どもの言葉で引き出すようにしています！